

● 秋晴れの心地よい季節になり、行楽にスポーツ、読書と何をするにもよい季節になりましたね。「〇〇の秋」にちなんで、今回はかなでにある本のご紹介をしたいと思います。お子さまと一緒に、ぜひご覧ください。

＜きびしい社会を生き抜く人になる こども君主論＞

「君主論」とはどのようなものか。

いまから500年前に、マキャベリという人が書いた本で、「君主＝リーダー」やその君主がおさめる国を丁寧に分析して「君主はどうあるべきか」というものをまとめたもの。

「君主論」の一番の特徴は人間のよい面だけではなく、悪い面にもしっかり目を向けているところ。当時の人々は人間のよい面だけに目を向ける考えをしていたので、「君主論」の内容は珍しいものとなった。

「君主論」はリーダーになるための心がまえを教えてくれる本だけど、リーダーになりたい人以外にも、とっとも役に立つ本です。なぜなら、リーダーに求められる勇気やまわりの人からの信頼はきびしい社会を生き抜くために、どんな人にも必要だからです。

こども君主論は4つのカテゴリで分かれており、その中から気になったものをいくつかご紹介したいと思います。

第一章 覚悟：勇気をもとう から

だいじなのは、自分できめること。
どっちつかずの態度では、なにもうまくいかないよ。

これからの人生の中で数えきれないほど、何かを決める場面に出会うはず。人生は「どっちにする？」の連続なのです。中にはたった1分で決められること、1週間悩んでも決められないこともあるかもしれない。正解がないことだって多い。どんなに迷いや不安があっても自分で一つ選ぶことが重要で、「こっち！」と決めたら、自信をもって進んでいこう。決める力のない人は、いつも中途半端な態度で失敗する。

くもり空の朝、傘をもって出掛けるかどうかなど、小さなことから良いので自分で決める練習をしていこう！

成功している人は、
ちっぽけな見栄なんてはらないよ。

人はどうしても、まわりの人からよく思われたいと願うもの。だけど、成功している人は、人にどう思われるかを必要以上に気にしないよ。見栄を張っても長続きしないし、いざというときに、なにもできなくなってしまおうと知っている。人からもたれるイメージに左右されない強さをもっていたいね。

今回は上記の2つをご紹介させていただきました。このほかにも、「きびしい社会を生き抜く人」になるためのヒントがたくさん書かれています。世の中はうれしさや楽しさだけではなく、辛さや苦しさもたくさんあります。人生を歩いていく中で、自分を育てていくことでどんなことに会っても乗り越えていく力が自分自身を支えていくことになるでしょう。ご興味がありましたら是非、手に取ってごらんになってみてください☆

（「こども 君主論」監修：斎藤 孝、発行所：株式会社 日本図書センター より引用）

＜お知らせ＞

9月28日に行われる予定でした、保護者会（小学生の部）は延期となり10月26日（土）に保護者会（中高生の部）と合同で行いたいと思います。詳細は別紙にてご案内いたします、ご確認ください。

放課後等デイサービス かなで

Tel : 011-596-9915 / Fax : 011-596-9916

HP : <https://www.ivfld.co.jp> 心配なこと、不安なことがあれば、ご相談ください。